



集大成

平成29年6月6日（火）
四季が丘小学校 研究推進便り

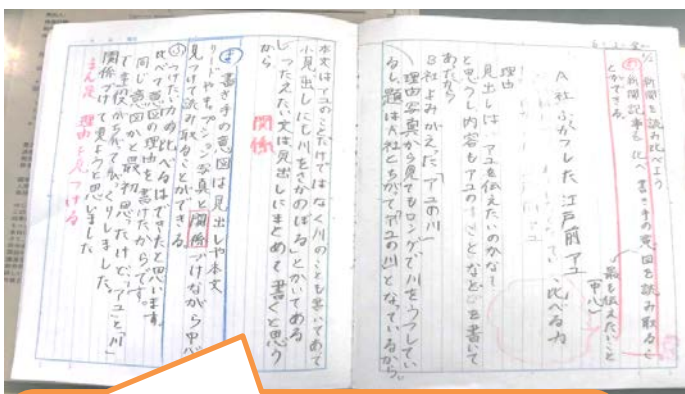
6月2日（金）に行われた第3回校内研修では、これからの研究や日々の授業改善につながる多くのことを学ぶことができ、大変有意義な会になりました。今年度初めての国語科の研究授業でしたが、5年2組の児童は大変主体的に学習に取り組み、昨年度までに身に付けた力を十分に発揮できていました。



また、協議会では授業についての改善点や資質・能力の評価のあり方など、国語科としての本質に関わることや主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の視点などを自分事として考える場となりました。

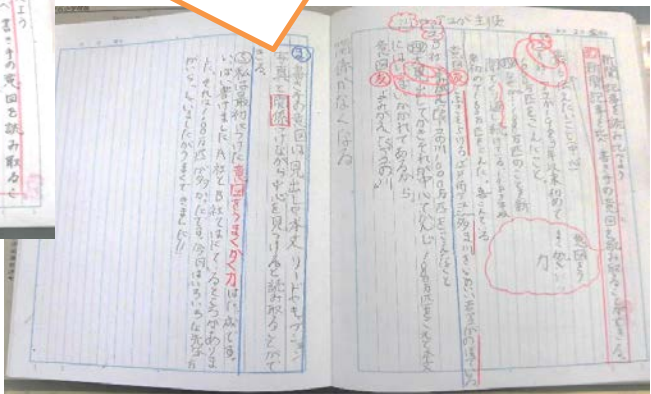
今年度、パイロット校として取り組んでいく内容は、先日も述べましたが、「課題発見・解決学習」の質の向上と「主体的な学び」を促す日頃の授業改善です。指導者が言いたいことを児童が言うのが理想的な授業の姿です。そのためには、どんな手立てが必要かを考えることが「主体的な学び」につながる授業改善のアプローチの1つであるように思います。既習事項とつなげながら本時のねらいの達成にむけたキーワードを子どもから出させること、常にそのことを意識して授業を組み立てていくと、こちらが思っている以上の展開になることもあります。子どもたちの力を信じ、その瞬間をみんなで一緒に味わっていきましょう。

また、吉田学部長の講話の中では、ノート指導についてのご示唆もいただきました。ただ、黒板の板書を写すだけでなく、自分や友達の考えや先生の発問・指示などのポイントなど黒板には見えないものを書くことで、学びの足あとや学びの深まりが見えるノートになります。ぜひ、チャレンジしてみましょう。



本時の授業のキーワードとなった「主役」という言葉を使ったり、重要な語句にアンダーラインを引いたりして、分かりやすくまとめています。

理由には、既習事項をつなげ、国語の用語を使って自分の考えをまとめています。ふり返りには、付けたい力と自分の考えの変容の具体を書くことができています。



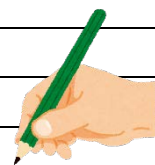
協議会後に書いていただいた振り返りより

- 単元として、一時間ごとの「つきたい力」を、まず、私自身が明確にもっておくことの大切さがわかりました。それが子どもたちにも伝わり、子どもたちの変容にもつながるキーポイントになるのですね。
- まずは、児童が主体的に取り組める一つの手立てとして、ノートにコメント等をする。児童の予想される反応、それに対する手立てを考えておく。
- 子どもたちが変容を自覚できる授業づくりを行っていけるよう、今つけないといけない力をしっかり意識することや他教科や生活へつなげられるよう授業を考えていく必要があると思いました。
- 何をきっかけにして深い学びになったかを振り返りに記述したり語ったりできるようにしていきたい。
- 主体的・対話的な学習は、やはり学級集団作り、そして担任と子どもの信頼関係かなと思います。



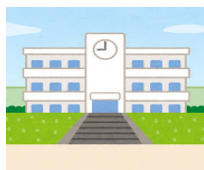
組織的に取り組み、指導を徹底していきます！

1	机の上の整理	鉛筆・赤青鉛筆・ものさし・消しゴム・教科書・ノート・下敷き
2	授業のあいさつ	「これから～の授業を始めます。」「お願いします。」 「これで～の授業を終わります。」「ありがとうございました。」 大きな声で元気よく
3	姿勢	ぐー・ぺた・ぴん・とん（徹底と持続を）
4	板書（ノート）	めあて・まとめ・ふり返りのカード
5	掲示物	学校教育目標・めざす子ども像・四季っ子の学び ローマ字表（3～6年）・・・A3版を作成し配付します。



外部からの訪問等の日程

- 6／ 9(金) 学校関係者評価委員会
- 6／15(木) 学校地域支援本部
市教研(家庭科・特別活動)
- 6／16(金) 四季中サミット
- 6／22(木) 校内研修(サテライト)研修【国語】
- 6／26(月) 小中乗り入れ
- 6／29(木) 校内研修【総合】
- 6月下旬 県教委・市教委学校訪問
- 7／ 3(月) 事務所学校訪問



- ・教室及び学年の掲示物も計画的に変えていきます。タイムリーな掲示にしていきましょう。児童の目標等が4月初めのままになっていませんか？上に重ねていくだけでよいので、ふり返し、次の目標に向かって努力できるよう工夫しましょう。
- ・みんなで声をかけ合って、確認をしていながら、お客様をお迎えしましょう。